



「事実を把握しておらず調査は不要」と3回同じ答弁 長谷部県議が捜査費の激減を追及

9月定例県議会

急傾斜地帯策を一戸から対象に 基準緩和を

地域防災計画の「災害時要援護者予防対策」では、市町村へ必要な補助や助成措置を求め、住宅の耐震化や土砂災害未然防止策として、人家裏山の急傾斜地対策を一戸から採択対象として防災事業ができるように基準の緩和が必要だと県の対応を質しました。現在の事業対象となっている5戸以上の箇所^の整備率が昨年度末27.2%で基準の緩和は困難と答弁しました。



一般質問に立つ長谷部県議
(10月4日)

9月定例県議会は、9月27日～10月13日までの17日間の会期で行われました。総額24億8千万円の補正予算案など知事提出議案39件と議員提出議案7件の計46議案が可決され、企業会計に関する5議案は継続審議となりました。

提出された議案の中では、全国初の「福島県商業まちづくりの推進に関する条例」案が提出されました。商労文教常任委員会の審議の中で、条例案に示された規制対象面積は、規則で6,000㎡以上とすることが表明され、最終日に全会一致可決されました。

党県議団からは、10月4日に一般質問に長谷部淳県議が立ち、最終本会議の反対討論は神山悦子県議が行いました。

日本共産党県議団は、補正予算案と指定管理者制度の導入に関する条例案、県単建設事業への市町村負担の追加に関する議案などの計6件に反対しました。また、意見書7件が採択されました。

介護保険の新たな負担に県独自の助成措置を

介護保険では、これまでの実施状況が65歳以上の被保険者（県内で47万人）のうち要介護認定者が14%程度しかないうえ、要介護認定者の2割が利用していないこと、居宅では支給限度額の4割程度しか受けていないなどの実態を指摘し、サービスの地域格差の是正、施設入居者の定員増、10月からの食費や居住費の新たな負担への県独自の助成措置を求めました。答弁は、他党派の議員が「冷たい」と口にするほど、問題を認識していないものでした。

県警の捜査費の実態を調査せよ

また、県警の捜査費については、国費と県費を合わせて、00年度と比較すると04年度では6割以上も減っている事実を答弁させ、「捜査費が大幅に減少したのは、裏金問題が噴出し裏金づくりができなくなったからではないか」と県民から疑問の目が向けられており、県民に納得のいく説明と調査が必要ではないかと迫りました。県警本部長は、「事実を把握しておらず調査は不要」と居直り答弁を3度も繰り返すだけでした。

「福島県商業まちづくり推進に関する条例」 規制対象を6,000㎡以上として全会一致で可決

画期的条例・・・県が大型店出店を規制

9月定例県議会で全会一致で可決された「福島県商業まちづくりの推進に関する条例」は、「規則」で店舗面積6,000㎡以上の大型店出店に対し、県が意見を述べられるなど都道府県段階では全国初の画期的な条例となりました。施行は1年後の06年10月1日からです。

待ち望まれていた条例制定 住民運動が大きき力に

1999年に安達町と伊達町のイオングループ出店計画が明らかになり、県北地方を中心に「大型店出店とまちづくりを考える会」が発足しました。これは周辺の商工団体、住民、労働組合、日本共産党議員などで構成され、自治体や県への陳情、署名行動、学習会などが取り組まれてきました。

そうした中で、県は01年に中心市街地だけでなく「まちづくり」の観点に立った「まちづくり懇談会」を設置し、さらに03年「福島県広域まちづくり検討会」を副知事の諮問機関として設置し、まちづくりの観点から大型店の立地調整を行うことを打ち出しました。



また、県が今年4月に実施した意見公募には約1,500通もの意見が寄せられ、条例制定が待たれていました。

実効ある条例にするため いっそうの 努力が求められる

日本共産党県議団は、住民運動と呼応して県議会で早くから取り上げてきました。今回の条例審議でも、商業施設だけでなく集客施設も対象とすべき事や、大型店の地域貢献については身勝手な撤退に歯止めをかけるようなものにすべきと提案し、来年10月の施行に向けた駆け込み出店への対応についてたどりました。

神山県議は最終日の討論の冒頭で「県民から長らく待たれていたもので、実効ある条例となるように望む」と条例を評価しました。



商労文教常任委員会で質問する
神山県議（10月7日）

日本共産党 県政報告

2005年11月

日本共産党福島県議会議員団

〒960-8065 福島市杉妻町4-16

電話：024-521-7618 FAX：024-523-3256

Eメール：jcpfsgk@jcp-fukushima.gr.jp



神山悦子県議

(郡山市選出)

商労文教常任委員

議会運営委員



長谷部淳県議

(いわき市選出)

企画環境常任委員

次世代育成支援特別委員

日本共産党県議団ホームページをぜひご覧ください
<http://www.jcp-fukushima-pref.jp>





ムダな大型公共事業をきっぱりやめ 県民のくらしを守る施策を

財政が厳しいと県民に負担を求めながら

小名浜東港人工島、トラハイに税金つぎ込む

9月定例県議会に提案された補正予算案は総額24億8千万円。県の財政が厳しいにもかかわらず、そのうち小名浜人工島づくりやトラハイ（あぶくま高原道路）の2つの事業だけで6億6千万円にもなります。

福島空港の存廃を真剣に検討すべき

神山県議は、ムダな大規模公共事業に相変わらず税金をつぎ込んでいることをきびしく批判し、さらに、航空会社へ各種助成措置をとりながらも路線廃止が続き、利用者数がさらに落ち込んでいることから、福島空港の存廃問題を真剣に議論すべき時期にきていることを指摘しました。

介護保険の負担増に 県独自の軽減策を

太陽の国と県老人福祉施設飯坂ホームの施設入所者に対し、利用者に食事代と居住費を全額負担させることは大変な負担増となるこ



とから、県独自の軽減策を図っていくべきと指摘しました。

指定管理者制度への移行と合わせた改悪

「県自然の家」を財団法人から指定管理者制度へ移行することについては、公的な教育・福祉施設についてはそもそも経営優先が求められる指定管理者制度を導入すべきでなく、さらに新たな利用料金の徴収は制度導入に合わせた改悪であると指摘しました。

談合業者への発注中止を

今議会に提案されたPC工法の橋りょう工事契約の案件については、契約の相手方が2社とも1年前の昨年10月半ばに公正取引委員会から独禁法違反で排除勧告を受けた業者であり、こうした業者への発注を中止するよう求めました。

与党派からの賛成討論はありませんでした。

来年度県予算編成に向けて 要望をお聞きする会 —13団体からご要望をいただく—

9月20・21日に「要望をお聞きする会」を開催し、県難病連、県私学連、県医労連など13団体から県政への要望を受けました。



各団体からは、来年度の県予算編成に向けて、切実な要望が寄せられました。日本共産党県議団は、みなさんの要望を受け県当局に予算要望を提出することとしています。

木造住宅の耐震診断への助成制度がスタート 来年度に向けて市町村での 制度創設が課題に

長谷部県議の初質問(03年9月議会)が成果に

03年9月議会で長谷部淳県議が初の一般質問で取り上げて創設された制度です。国の制度に基づいて、県が要綱をまとめ今年6月から施行されました。市町村が個人の木造住宅の耐震診断に有資格者を派遣する場合には、県が助成を行うものです。

9月現在では、新地町で制度が創設されています。今後、市町村での制度の創設をすすめることが課題となっています。



県立大学法人化検討委員会 大学の自主・自立性の尊重を前提に「中期目標」の設定を

知事が策定する各法人化大学の「中期目標」について、議会内の調査検討を進める委員会のもとワーキンググループが設置されました。党県議団から長谷部県議がメンバーに入り、学問の自由と大学の自主性を大前提にした検討を進め、大学側意見を十分に取り入れるよう強調しました。

ワーキンググループは、「大学の自主・自立性の尊重」「県民の目線は地域貢献」「結果重視の数値目標」などの意見をまとめ、10月12日に検討委員会としての意見として議長に提出。翌13日は議会の意見として議長名で知事に提出しました。



9月定例県議会に向けて要望事項を申し入れる
神山、長谷部の両県議 (9月7日)

「たしかに野党」の存在がますます重要に
総選挙の結果、自民党、公明党が議席の7割以上を占める結果となりましたが、これは4割台の得票で7割台の議席を占めるという小選挙区制の非民主的性格を端的に示すものであり、「圧勝」とは形だけのものです。
総選挙後の新しい政治情勢は、小泉・自公政権の憲法改悪や大増税などの反動的暴走への危険が強まっています。
一方で民主党は、総選挙後に憲法9条の改正を正面にかかげる前原新代表となつて、自民党に対抗するために「改革」のスピードを競い合うなど、自民党以上に財界よりの主張をするなど自民党と同じ土俵に乗っていることがますます鮮明になってきました。国民との矛盾がいよいよ深刻にならざるを得ません。
総選挙の結果を受けて、自民党県議でさえも「自民党は勝ちすぎた。小泉改革によって地方の切り捨てがいつそうすすめるられるおそれがある」などと言っています。
県議会の中で野党は日本共産党の2人だけ。その役割は県民の利益を正面から守ることです。「たしかに野党」としての存在に磨きをかけなければと気を引き締めています。